

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 : 令和7年1月21日(火) 16:30頃

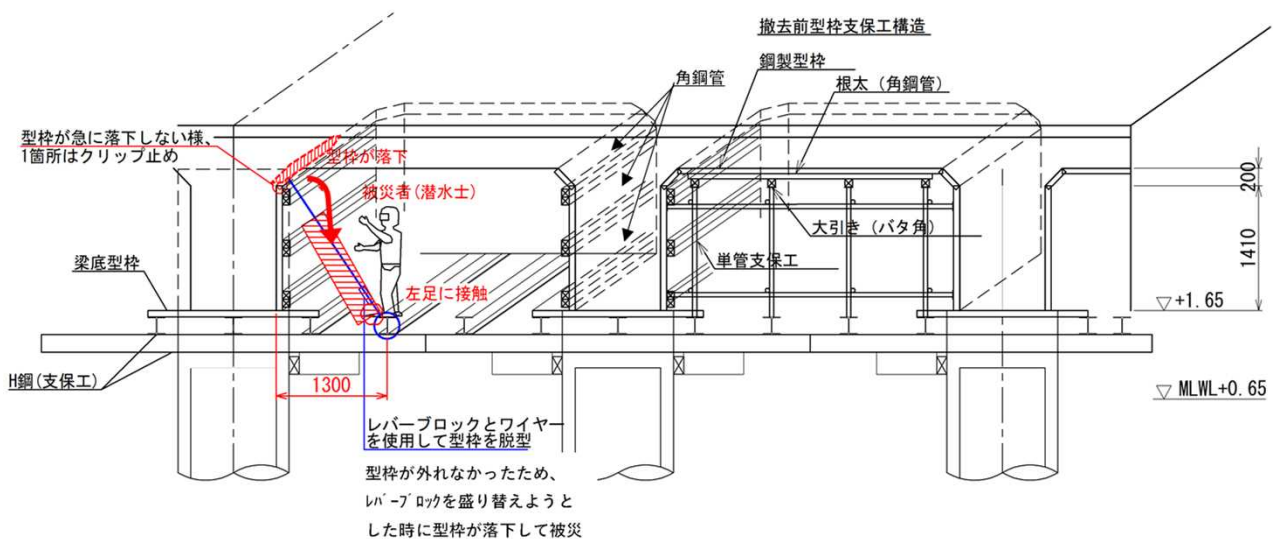
作業内容 : 栈橋上部工(型枠支保工撤去、スラブ下・梁型枠組外)

被災状況 : 左足親指根元骨折・裂傷

II. 事故発生状況

被災者はスラブの底枠及び支保工撤去完了後、スラブ下のハンチ部の型枠を撤去していたところ、ハンチ部型枠が外れなかったため、レバースタック(1t巻)のワイヤーを型枠の端に設置して型枠を引っ張った。

それでも型枠が外れなかったため、別の箇所にレバースタックを掛け直そうと緩めたところ、ハンチ部型枠が回転落下し、潜水土(被災者)の左足親指根元に当たり負傷した。



災害発生時詳細図

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 撤去するハンチ部型枠の落下防止のために、該当箇所の下側面型枠とハンチ部型枠をクリップで1箇所のみ留めていたが、クリップの固定状態が完全かどうか確認していなかった。
【危険に対する認識不足】
- 2) 撤去するハンチ部型枠の落下防止のために、スラブに設置したアイボルトと型枠を番線で固定する予定にしていたが、レバーブロックで引っ張っても型枠が微動だにしなかったため、落下すると思わず、番線での落下防止策を実施しなかった。
【安全対策の不徹底】
- 3) パール等での型枠撤去が進まない場合、レバーブロックを使用することを当初から想定していたが、取付位置等の詳細な手順を作業手順書に記載していなかった。
【作業手順書の不備】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) ハンチ部型枠の落下防止対策として、側面型枠とクリップで2箇所固定し、レバーブロックの設置前にクリップが適切に取付けられているかを確認する。
【安全対策の改善】
- 2) スラブに設置したアイボルトと型枠を番線で繋ぐ。
【安全対策の徹底】
- 3) レバーブロックを用いた型枠撤去の詳細な手順及び、型枠が堅固でレバーブロックを使用しても外れない場合の取付位置・盛替え手順を作業手順書に追加し、作業員に周知徹底する。
【作業手順書の改善】
- 4) 再発防止対策が確実に実施されていることを確認するために、栈橋下部の施工状況をウェアラブルカメラにて定期的に監視する。
【再発防止対策の実施状況確認】